

2022年7月22日

お客様 各位

株式会社 日経金融工学研究所

調査開発部

気候変動シナリオ分析商品「CRIS (クリス)」リリースのご案内

拝 啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素より弊社業務へ格別のご高配および弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今では TCFD 提言の賛同企業やプライム市場上場企業を中心にして、TCFD 提言に沿った開示が徐々に増えてきております。皆さまにおかれましては、脱炭素社会の実現に向けて急ピッチで対応を進めておられることと拝察いたします。特に「気候変動シナリオ分析」は、TCFD にかかる開示のなかで、現時点では統一した手法がなく模索しながら対応を進めておられ、お困りの点も多いと伺っております。

本分析は、自社および取引先の脱炭素への影響を、大きく分けて移行リスクおよび物理的リスクの2つの視点でリスク計測するものです。これらのリスクは従来のリスク計測のノウハウ以外に、従来とは異なるデータや分析手法も用いることになり、過度な業務負担につながりかねません。

この度、弊社は、当該シナリオ分析に対応したプロダクトである「CRIS (クリス)」をリリースしました。CRIS は、移行リスクおよび物理的リスクそれぞれの論点を解決すべく、弊社が皆さまとともに長年培ってきた財務諸表や信用コストの予測ノウハウをベースに、簡易かつ効率的に気候変動シナリオ分析が実施できるよう開発したプロダクトです。本プロダクトは TCFD 開示への対応や取引先の脱炭素を推進するための分析ツールとして、金融機関様や事業法人様の皆さまの業務に貢献できるものと考えております。

CRIS の主な特徴を下記にお示ししております。無料トライアルも準備しておりますので、ご興味のある方は是非、担当【山本 (TEL : 03-6273-7743)】までいつでもご連絡下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

■ CRIS の主な特徴

1. 移行リスクおよび物理的リスクのそれぞれで将来財務諸表を作成

- 気候変動シナリオに基づく将来財務諸表の作成
- 信用リスク評価（スコアリング）で必要とされる勘定科目を予測
- 予測財務諸表に基づく債務者区分判定、および定量格付／最終格付の付与
- 信用コストの増加額を計算

2. 移行リスクの主要論点を解決するための機能を実装

- 企業ごとに将来の支払炭素税額を予測
- ①設備投資、②研究開発、③座礁資産の減損—を織り込んだ将来財務諸表の作成
- 自動車販売予測や売電量予測を入力することで将来の売上高を精緻に予測

3. 物理的リスクの主要論点を解決するための機能を実装

- 洪水に伴う担保価値への影響を予測（①BS 有形固定資産の減損、②担保価値の毀損—が信用コストへ与える影響を計算）
- 洪水に伴う事業停滞への影響を予測（休業による売上高減少が信用コストへ与える影響を計算）

以上